

2008年12月8日

厚生労働省 _____

全国筋無力症友の会
代表 伊藤 たてお

抗マスク抗体検査の保険適用と検査実施機関増設を求める要望書

平素より、難病患者の医療・福祉増進にご尽力いただき深く感謝申し上げます。
さて、重症筋無力症をおこす抗体として抗アセチルコリン受容体抗体が知られていますが、近年、新たに抗マスク(MuSK)抗体が発見され、その病態も明らかにされつつあります。

抗マスク抗体陽性の患者は、筋無力症患者が最も恐れるクリーゼ（呼吸困難）に陥りやすいという臨床的特徴があり、また、従来、効果的治療法とされてきた胸腺摘出手術が無効であるなど治療方法が異なってくるため、いずれの抗体が関与しているのかの鑑別を早期に行うことが重要になります。

しかし、現在、他病院からの検査を受け付けているのは長崎大学病院のみであり、保険外診療であるため、費用はその研究費で賄われているのが現状です。そのため、専門病院であっても検査してもらえないことや、検査してもらえても結果がでるまでに3～5ヶ月くらいの期間がかかるという問題が起きております。

つきましては、早期の診断・鑑別と経過観察に必要な抗マスク抗体検査を、どこでも、速やかに行えるよう、以下の要望をいたします。ご配慮よろしくお願い申し上げます。

〈要望事項〉

1. 抗マスク抗体検査を保険適用にして下さい。
2. 抗マスク抗体検査の実施機関を増やして下さい。
3. 病院（医師）へのマスク抗体の知識の普及に努めて下さい。

全国筋無力症友の会

〒602-8143 京都市上京区堀川通丸太町下ル 京都社会福祉会館 京都難病

電話 075-822-2691 FAX075-255-3071